第16章　帳簿の記入②

16－１　現金出納帳

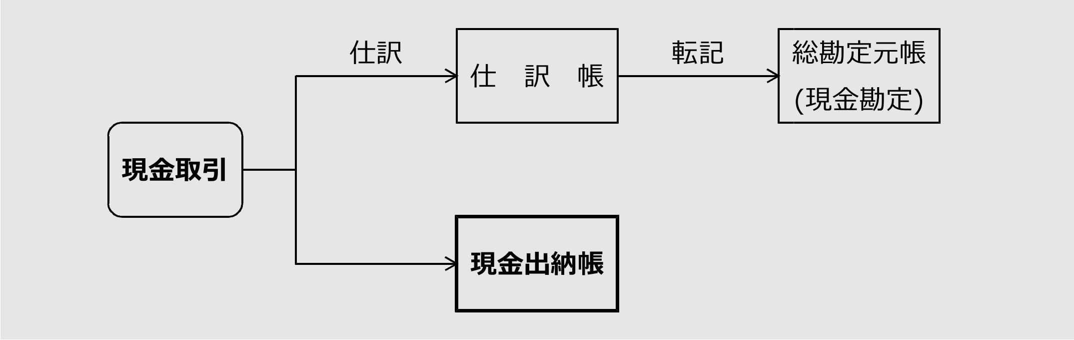
【重要性：Ｂ】

ＰＯＩＮＴ！

①　現金出納帳から情報を読み取り、仕訳を行えるようにしよう！

②　総勘定元帳（「現金」勘定）との関係に注意しよう！

現金の入金（収入）と出金（支出）の明細を記録するための補助簿（補助記入帳）を、**現金出納帳**といいます。仕訳帳と総勘定元帳への記帳のほかに、現金に関する取引が現金出納帳に記帳されます。



現金出納帳は以下の手順で記入します。

① 日付欄には、取引が行われた日を記入します。

② 摘要欄には、取引の内容を簡潔に記入します。

③ 収入欄には、現金の増加取引を記入します。また、支出欄には現金の減少取引を記入します。残高欄には、取引後の残高を記入します。

④ 月初には摘要欄に「前月繰越」と記入し、月初残高を収入欄と残高欄に記入します。また、月末には摘要欄に「次月繰越」と記入し、月末残高を支出欄に記入します（赤字で記入（朱記）します）。

⑤ 収入欄と支出欄の合計金額を記入し（両者は一致します）、二重線（締切線ともいいます）を引いて締め切ります。

現　金　出　納　帳

日　付		摘　　要	収　　入	支　　出	残　　高
?	1	前月繰越	×××		×××
	?	A商店より仕入		×××	×××
	?	B商店へ売上	×××		×××
	?	通信費の支払		×××	×××
	?	次月繰越		×××	
			×××	×××	
?	1	前月繰越	×××		×××

例題16－1　**次の現金出納帳から読み取れる3月の取引について、仕訳を行いなさい。**

現　金　出　納　帳

日	付	摘　要	収　入	支　出	残　高
3	1	前月繰越	50,000		50,000
	5	A商店より仕入		15,000	35,000
	17	B商店へ売上	24,000		59,000
	25	通信費の支払		2,000	57,000
	31	次月繰越		57,000	
			74,000	74,000	

日付	借方科目	金　額	貸方科目	金　額
3／5	仕入	15,000	現金	15,000
17	現金	24,000	売上	24,000
25	通信費	2,000	現金	2,000

なお、この現金出納帳から読み取れる３月の取引に関する「現金」勘定の記入は以下のとおりです。

現　　金

日	付	摘　要	仕丁	借　方	日	付	摘　要	仕丁	貸　方
3	17	売上	省	24,000	3	5	仕入	省	15,000
			略			25	通信費	略	2,000

16－２　当座預金出納帳

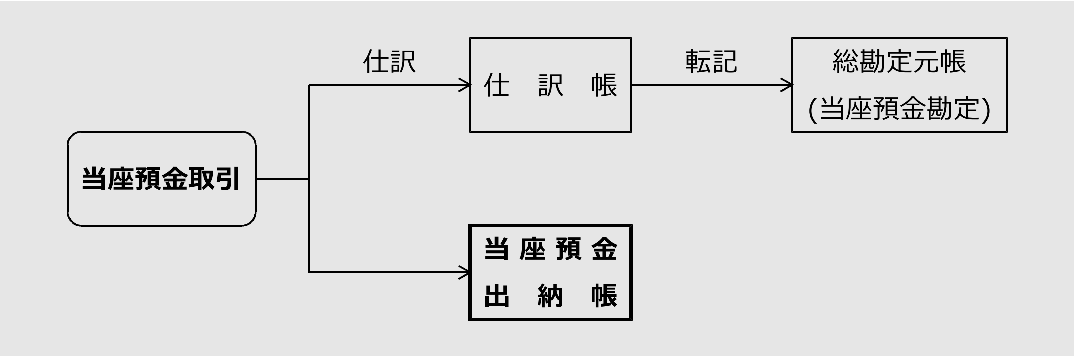
【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　当座預金出納帳から情報を読み取り、仕訳を行えるようにしよう！

②　総勘定元帳（「当座預金」勘定）との関係に注意しよう！

当座預金の預入（増加）と引出（減少）の明細を記録するための補助簿（補助記入帳）を、**当座預金出納帳**といいます。仕訳帳と総勘定元帳への記帳のほかに、当座預金に関する取引が当座預金出納帳に記帳されます。



当座預金出納帳は以下の手順で記入します。

① 日付欄には、取引が行われた日を記入します。

② 摘要欄には、取引の内容を簡潔に記入します。

③ 預入欄には、当座預金の増加取引を記入します。また、引出欄には当座預金の減少取引を記入します。残高欄には、取引後の残高を記入します。また、「借または貸」欄には残高が借方残高の場合（資産としての当座預金）には「借」を、残高が貸方残高の場合（負債としての当座借越）には「貸」と記入します。

④ 月初には摘要欄に「前月繰越」と記入し、月初残高を預入欄と残高欄に記入します。また、月末には摘要欄に「次月繰越」と記入し、月末残高を引出欄に記入します（赤字で記入（朱記）します）。

⑤ 預入欄と引出欄の合計金額を記入し（両者は一致します）、二重線（締切線ともいいます）を引いて締め切ります。

当 座 預 金 出 納 帳

日付		摘要	預入	引出	借または貸	残高
?	1	前月繰越	×××		借	×××
	?	A商店に買掛金の支払		×××	〃	×××
	?	B商店の売掛金の回収	×××		〃	×××
	?	備品の購入		×××	〃	×××
	?	次月繰越		×××		
			×××	×××		
?	1	前月繰越	×××		〃	×××

例題16－2　次の当座預金出納帳から読み取れる４月の取引について、仕訳を行いなさい。

当 座 預 金 出 納 帳

日 付		摘　　要	預　入	引　出	借または貸	残　高
4	1	前月繰越	70,000		借	70,000
	5	A商店に買掛金の支払		34,000	〃	36,000
	11	B商店の売掛金の回収	45,000		〃	81,000
	20	備品の購入		50,000	〃	31,000
	30	次月繰越		31,000		
			115,000	115,000		

日付	借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
4／5	買　掛　金	34,000	当　座　預　金	34,000
11	当　座　預　金	45,000	売　掛　金	45,000
20	備　　品	50,000	当　座　預　金	50,000

なお、この当座預金出納帳から読み取れる４月の取引に関する「当座預金」勘定の記入は以下のとおりです。

当 座 預 金

日 付		摘　要	仕丁	借　方	日 付		摘　要	仕丁	貸　方
4	11	売　掛　金	省	45,000	4	5	買　掛　金	省	34,000
			略			20	備　　品	略	50,000

16－３　小口現金出納帳

【重要性：Ａ】

ＰＯＩＮＴ！

①　小口現金出納帳から情報を読み取り、仕訳を行えるようにしよう！

②　総勘定元帳（「小口現金」勘定）との関係に注意しよう！

[５－３]で学習した小口現金出納帳の記入の仕方を説明します。

小口現金出納帳は以下の手順で記入します。

① 日付欄には、取引が行われた日を記入します。

② 摘要欄には、取引の内容を簡潔に記入します。

③ 受入欄には小口現金として受け入れた金額を記入します。また、支払欄には支払金額を記入します。

④ 内訳欄には、支払金額を勘定科目ごとにそれぞれの欄に記入します。

⑤ 月末には摘要欄に「次月繰越」と記入し、月末残高を支払欄に記入します（赤字で記入（朱記（しゅき））します)。

⑥ 受入欄と支払欄の合計金額を記入し（両者は一致します)、二重線（締切線ともいいます）を引いて締め切ります。

⑦ 月初には摘要欄に「前月繰越」と記入し、月初残高を受入欄に記入します。

小口現金出納帳

受入	日付		摘要	支払	内訳		
					交通費	通信費	雑費
×××	?	?	小口現金受け入れ				
		?	電車代	×××	×××		
		?	切手代	×××		×××	
		?	お茶菓子代	×××			×××
		?	切手代	×××		×××	
			合計	×××	×××	×××	×××
×××		?	小口現金受け入れ				
		〃	次月繰越	×××			
×××				×××			
×××	?	?	前月繰越				

例題16－3　**次の小口現金出納帳から読み取れる１月の取引について、仕訳を行いなさい。なお、小口現金の補給は小切手振出により行っており、毎月末に庶務係から経理に1ヶ月の支払報告を行っている。**

小 口 現 金 出 納 帳

受入	日付		摘要	支払	内訳		
					交通費	通信費	雑費
2,000	1	1	小口現金受け入れ				
		9	電車代	300	300		
		15	切手代	150		150	
		21	お茶菓子代	100			100
		25	切手代	50		50	
			合計	600	300	200	100
600		31	小口現金受け入れ				
		〃	次月繰越	2,000			
2,600				2,600			

日付	借方科目	金額	貸方科目	金額
1／1	小口現金	2,000	当座預金	2,000
31	交通費	300	小口現金	600
	通信費	200		
	雑費	100		
〃	小口現金	600	当座預金	600

なお、この小口現金出納帳から読み取れる１月の取引に関する「小口現金」勘定の記入は以下のとおりです。なお、１月31日における１つ目の仕訳において「小口現金」勘定の相手勘定科目が複数であるので、摘要欄には「諸口（しょくち）」と記入されます。

小 口 現 金

日付		摘要	仕丁	借方	日付		摘要	仕丁	貸方
1	1	当座預金	省	2,000	1	31	諸口	省	600
	31	当座預金	略	600				略	